

明治四十一年創業 中道高宮宿
Tanakaya-communication

田中家通信

全優石 全額現金石材店

株式会社 田中家石材

VOL. 26

発行/株式会社 田中家石材
住所/彦根市高宮町1-0-8-1
電話/0749(50)50000

HP: <http://www.tanakaya-sekizai.com/>
Mail: info@tanakaya-sekizai.com

元日

お正月は、日本最古の行事だと言われています。しかし、その起源は詳しく分かっていません。佛教が伝来した六世紀半ば以前よりお正月は存在していたと言われています。「お盆」の半年後にやってくるお正月は本来お盆と同じく「先祖をお祀りする行事」でした。

お盆は仏教行事の盂蘭盆会と融合して先祖供養の行事となり、お正月は歳神を迎えてその年の豊作を祈る「神祭り」として区別されるようになったと考えられています。

また、現在のようなお正月の行事(門松・しめ縄飾り・鏡餅)が浸透したのは、江戸時代になり庶民にも手軽に物が入るようになってからのようなようです。ちなみに、「元日」は一月一日の意味ですが、「元旦」は一月一日の朝だけのことです。

「親の老い」

読売新聞の寸評に「頼りなきものとし親を知りてより星のかがやき深くなりたり(山田富士郎)」の短歌が載っていました。その意味は、「我が手を引き、傘となり壁となってくれた人が、自分より小さく、はかなげに見えた。」となります。

私事ですが、今は亡き親父は田中家石材の二代目、厳しい初代の祖父の跡を継ぎ、職人として頑張ってくれました。仕事で親父に褒められたことは一度もありません。その親父が、私が二十六才の時に病気を患いました。完全に回復は望めませんでした。仕事でどうしても手が足らなくなり、手伝いを頼みました。短い切石を一本据え付けるだけの仕事でしたが、切石を二人で持ち上げた途端、「あかん、無理や。わしには持てへん。」と寂しそうに言いました。その時、あれだけ怖くて、強かった親父が小さく、弱く感じ、何とも言えない気持ちになりました。

私の母親は、今八十才です。毎年、小さくなっていくのが分かります。でも、顔を見ると「仕事は順調か?」「無理したらあかんぞ。」といつも気遣ってくれます。先祖親とは、本当にありがたいものだと思います。

お墓・お仏壇を継承するという事

最近のテレビ報道で、「墓じまい・仏壇じまい」という事が取り上げられています。

散骨や樹木葬、集合墓などの埋葬の変化についての事ですが、これは流行や話題性で済まされない問題だと思えます。これらの行為は、脈々と続いてきたその家の先祖を否定し子孫にも、その継承を否定させる事だと思えます。

東京都が集合墓十五万人分を公募し、すぐに完売になり話題となりました。マスコミでは、お墓が要らなくなったと報道されています。したが、フタを開けてみると、そこに納骨されたのは三分の一以下でした。

なぜか?契約された後継者の方達が「そこに収めるのは、誰に手

を合わせているかわからない。」と断つて、それぞれに、親のお墓を建てられたそうです。

もう一つあります。故人の意向で散骨業者のチャーター便により沖に出て散骨されました。故人は子供に迷惑をかけない思いでされたのでしようが、以後、子孫の方は毎年、お盆か命日には船をチャーターされ、散骨された場所まで手を合わせに行かれるそうです。

集合墓、散骨、樹木葬にしても、結果として次の世代に負担をかける事になる場合があると思います。お客様の中心に「娘ばかりで、どうなるかわからない。」と言われる方がよくおられます。私も娘二人の親ですが、先の事はわかりません。しかし、一つ言える事は、娘の寿

人生、心呼吸

呼吸をする時、すつてから、はきますか?はいてから、すいますか?はいてから、すつた方がたくさんすえます。人間は、「オギャー」と息をはいて生まれ、そして息をすつて亡くなります。

お医者さんが臨終の際、「息を引き取りました。」と言われます。まさに、はけなくなった時、人生の終焉を迎えるということ。人が人生を終える時に残るものは、物・心を含め、集めたものではなく、与えたものであると思えます。集めたものは、いづれ誰かのものになるか、取られてしまいます。思いやりを込めて与えたものは、その場所に、その人の心に残り続けます。その事が、心呼吸の「はく」事ではないでしょうか。

伊吹の山がやさしく見守る…。
明るい日差しが降りそそぐ、
緑あふれ心安らぐ霊苑です。

花といのさと

宗旨宗派不問

長浜市加田町に新規開苑!

ご自由に見学に来て下さい。

お申込み・お問い合わせは
花といのさと 興善寺霊苑
電話. 0749-63-1905
滋賀県長浜市加田町2275

- 安全で安心
- 全区画バリアフリー設計
- 広い通路幅
- ナイター、街路灯、誘導灯完備
- トイレも広々
- きれいな休憩所
- 緑あふれる庭園
- 駐車場完備

命が尽きるまでは、何十年もありますし、孫に至っては、もつと長い期間お参りされると思っています。止めてしまふ事は簡単です。今、一生懸命に先祖・故人に手を合わせ、少しでも可能性を残すことが大事ではないかと思えます。余談になりますが、刑務所の受刑者に心のケアをされているお坊さんが、受刑者に「お墓参り」についてアンケートを採ったところ、受刑者の九十八%がお墓参りをしたことがないと回答したそうです。そのことが直接犯罪につながるかどうかは分かりませんが、私は大いに関係があると思えます。

それと同時に、日本で一番犯罪率の低い県は、鹿児島県で、お花を一番消費する県も鹿児島県だそうです。お仏壇・お墓にお花を供えることが多い、つまりご先祖に手を合わせ方が多いということだと思えます。